

ミスが減らないのはマニュアルが悪いから？ マニュアル厳格化してもヒューマンエラーが減らない理由

【人間重視】のヒューマンエラー防止法

—「無料コンサル3回権利」付き—

日時 2024年9月9日(月) 10:00~17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円(資料含む、消費税込) 《特典》8/30「人間重視型リーダーシップ&人間力醸成法」セミナーとの同時申し込みの場合 88,000円で通常価格より6,600円の割引!

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗車。
4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。
必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、
下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

9/9 人間重視HE

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247568

開催主旨

ヒューマンエラーによる「トラブル」が発生すると、多くの会社では、いそいそと「ルールやマニュアル等を強化」し、教育と称して反省を迫ります。

「マニュアルも見直したし、反省もさせた。万事解決!」となればよいのですが、実際そうはならず、相変わらずトラブルは減らず、現場は疲弊していく…。いったいなぜか?それは、マニュアル・ルール強化の本質とは…

「言われた通りの手順を守れ」ということであり、結果、現場のスタッフを言われたことしかやらない「考えない集団」化してしまうのです。結果、「考えない集団」がエラーを繰り返す見事な「負の連鎖」を繰り返してしまいます。

『こんなにマニュアルを作りこんだのに…! 周知徹底したのに…。 社員のポカミスが減らない。 うちの社員には何をやっても駄目なんだ!!』と管理側が諦めてしまう前に…「現場の改善の知恵が日常化する組織風土」の構築をお勧めします。

そもそも『ミスしよう』と思って、ミスする社員なんかいません。本質的なポカミス・ヒューマンエラー防止の鍵は、人間が本来、保有している「良くしたい」との「善なる思い」に働きかけ、『わくわく』感を生み出し自発的な改善の知恵が日常化する「人間重視」の仕組みを作ることなのです。

ミス・ヒューマンエラーは人間が関与するあらゆる分野に存在します。こうしてヒューマンエラー防止の各種方法を様々な専門家が実践してきた訳ですが、やがて限界に直面し、行き着く先は「人間のモチベーション」にたどり着きます。「ヒューマンエラーは人間が引き起こす」のであるから、「ヒューマンエラーは人間が防げるではないか?」との考え方に、必然的にたどり着くのです。

本セミナーは演習主体の実践型セミナーとしてデザインしており、「簡単に実践できる仕組み」を提供いたします。「難しい仕組み」は構築しても実践が難しく、「簡単に出来る仕組み」は直ぐに実践が可能になります。ご受講いただいた後、「気に入った内容」を即、職場で実践いただけます。

『ルール強化はもう限界だ!』と感じている方や、現在実践中の「QC活動」「ヒヤリハット運動」「品質改善活動」など従来手法に限界を感じている方々のご参加をお待ちしております。

■無料コンサル権3回分

ご受講された方は後日、Zoomあるいは対面により、いつでも3回まで関講師のコンサルを無料で受けることが出来ます。

講師

ヒューマン&クオリティラボ 代表 (元)富士通株式会社 人材開発部 シニア・レクチャラ&上級教育士(工学) **関 弘充 氏**

【略歴】 成蹊大学工学部経営工学科を卒業し富士通(株)入社。品質検査部門を経てシステム開発部門において各種のシステム開発マネージメントに関わる(途上、未来工学研究所主任研究員)。近年、品質問題を長年抱える本部組織において「人間重視の品質改善」を推進し(主席部長、品質保証部長)わずか1年で高品質体質組織に導き、世界的に著名な改善のモデルCMM&CMMI®を導入する機会を得てSI分野で日本初の最高レベル5を達成、社長賞&最高品質賞を受賞。定年後も続投し、同社人材開発部プロフェッショナル研修センターにおいて「わくわく」元気塾&品質改善講座を開講。多くのマネージャおよびリーダ等のプロフェッショナルを育成。富士通を退職後、「人間力醸成」を基盤にした各種セミナー・講演・企業研修など3万人以上の方々への指導を行っている。

(注1) アサーション：心理学的なコミュニケーションパターンの一つ：EQ (Emotional Intelligence Quotient)：心の知能指数

(注2) Capability Maturity Model and CMM&CMMI are registered in the U.S. Patent and Trademark Office.

プログラム

第1章 ヒューマンエラーと人間重視

- 1.1 ヒューマンエラー防止活動の基盤
- 1.2 ヒューマンエラー防止と本セミナーの主張

第2章 失敗を繰り返さないための「人間力の醸成」

- 2.1 「失敗の構図」と「品質問題の発生」
- 2.2 人間重視と人間力の醸成
- 2.3 ヒューマンエラーとコミュニケーションの向上
 1. 演習1「トラブルと人間関係」
 2. 「心理学的な知恵」と人間関係の向上

第3章 ヒューマンエラー防止のための「動機付け」ケーススタディ

- 3.1 人を動かす仕組考案のコツ
- 3.2 「動機付けする」ケーススタディ
 1. 演習2：「人を動かす再発防止計画」
 2. 改善への動機付け(人を動かす再発防止策①)
- 3.3 失敗した際の部下の指導法

第4章 エラー防止のための「リスクマインド醸成」ワークショップ

- 4.1 簡単にできる「問題発生防止」
 1. 「リスク管理の仕組」考案のポイント
 2. 演習3：「ヒューマンエラーとリスク管理」

4.2 「リスク管理の仕組」事例

1. 「リスク意識の高い集団」と「リスクマインドの醸成」
2. リスクマインドの醸成(人を動かす再発防止策②)

第5章 ヒューマンエラー防止のための「改善マインド醸成」ワークショップ

- 5.1 エラーを防ぐ「改善マインドの醸成」
 1. エラー防止のための「改善マインド」の醸成事例
 2. 演習4：「ヒューマンエラー防止と改善提案」
- 5.2 「わくわく」感を生み出す「全員参加型改善活動」
 1. 「全員参加型改善活動」の仕組事例
 2. 改善マインドの醸成(人を動かす再発防止策③)

第6章 失敗を繰り返さないための「具体的な実践方法」の勧め

- 6.1 作業者が複数人の場合の改善活動
- 6.2 作業者が一人の場合の改善活動

第7章 実践に向けての「動機付け」

第8章 実践に向けての「エール」